

第2回口腔粘膜研究会～蛍光観察装置の有効性について検討する～のご案内

口腔粘膜研究会

東京歯科大学 口腔顎顔面外科学講座 柴原 孝彦
大野 啓介

今年3月から日本で発売された蛍光観察装置が、日本薬事における「歯科診断用口腔内カメラ」としてClass IIの承認を取得しました。蛍光観察装置は様々な機種が発売され、利用可能となっています。蛍光観察装置の臨床応用が、漸くブレイクスルー兆しが見えてきました。そこで昨年から開催されました「口腔粘膜研究会～蛍光観察装置の有効性について検討する～」を、高橋哲学会長のご厚意により今年度も下記要領にて実施することに致しました。皆様の参加をお待ちしております。

開催日時；2019年10月27日（日） 12時～12時50分

開催場所；札幌コンベンションセンター 第5会場（1階 104+105会場）

演題内容；基礎・臨床を問わずWS形式での演題（5～8分程度）

演題につきましてはまだ募集中です。演題登録のご希望がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

一般会員の参加も可能です。また先着100名程度ですがお弁当のご用意がございます。

問い合わせ先 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-9-18

TEL 03-6380-9242 FAX 03-3262-3213

東京歯科大学口腔顎顔面外科学講座

代表世話人 柴原 孝彦 大野 啓介